

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 豊橋市立羽根井小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 441-8029
愛知県豊橋市羽根井本町131

E-mail : hanei-e@toyohashi.ed.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 225 名 女子 236 名 合計 461 名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

①

② 地域と関わる活動

1年生は、近くの保育園の子どもたちを招いての交流会を行った。1年生が考えた遊びを園児に教えながら、楽しんでもらった。一時間の活動では、お兄さんお姉さんぶりを見せ、楽しく活動することができた。この活動を通して、成長することができた。



2年生は、校区の老人福祉施設「明陽苑」を年7回訪問し、高齢者と触れ合う活動を行った。高齢者の方も知っている伝統的な遊びを一緒に行ったり、学習発表会で発表した劇を見ていたりする活動を通して、交流を深めることができた。

3年生は、羽根井校区再発見をテーマに、校区の店や工場について見学し、調べたことをまとめ、発表する活動を行った。特に、イチビキ工場の見学では、醤油の製造工程を映像で見たり、工場内を見学しながら説明を聞いたりして、商品がどのように作られるのか、生産性の向上や商品の安全管理など、工場の工夫や働く人たちの努力を知ることができた。



5年生は、校区を流れる牟呂用水のクリーン活動を行った。清掃をする中で、多くのゴミが捨てられていることから、ゴミを捨てることなく、自分たちの住んでいる地域をもっときれいにしていきたいという気持ちを高めることができた。

③ 地域の文化や歴史に触れる活動

3年生は、羽根井校区の昔の生活や様子を調べる活動を行った。羽根井校区の昔をよく知る方々を講師として招き、昔の生活や様子について教えていただくとともに、昔使っていた道具などを実際に触ったり操作したりして、知識を深めることができた。



4年生は、豊橋の伝統工芸である筆づくりを行った。講師の方々の説

明を聞きながら、一人一本ずつ自分の筆を完成させることができた。普段使っている筆が、複雑な作業で時間をかけて作られていることに気づくとともに、豊橋の伝統工芸のすばらしさを感じることができた。



5年生は、伝統的な和楽器である琴や尺八について、地域の方々を講師として招き体験活動を行った。講師の方々の演奏を聴いて感動するとともに、実際に演奏させていただき貴重な体験をすることができた。



6年生は、豊橋ユネスコ協会の方々を講師として招き、豊橋公園の戦争遺跡について説明を聞いたり、写真や映像をつかって豊橋空襲の様子を詳しく知ったりする活動を行った。戦時中の生活の様子や、実際に体験した空襲の恐ろしさを、実体験を交えて話していただき、子どもたちは戦争の悲惨さについて改めて考えることができたとともに、平和の大切さとそのために自分たちができることについても考えることができた。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()